

法堂（教えを説くためのお堂）の断食をする仏陀像（QRコード付きのサイン）

こちらの石像は断食をする仏陀を模ったものです。やせ細った仏陀の外観のディテールが断食による試練とそれを引き受けた僧たちの決意を示しています。

この像はパキスタンで国宝に指定されている彫刻のレプリカです。オリジナルの像は、インド亜大陸で紀元前 180 年から紀元前 10 年までの間に栄えた、古代ギリシャ芸術とインド仏教芸術の融合したガンダーラ芸術の貴重な例として考えられています。

こちらの像はオリジナルの唯一の公式なレプリカであり、パキスタン政府から贈与されたものです。像は貴重で重要な芸術品であり、初期の仏陀の描写に写実的な古代ギリシャ彫刻の影響があったことを示しています。